

執筆のしおり

広報SENACは、広く利用者の便を図るために、下記の要綱にしたがった投稿を掲載いたします。

1. お寄せいただきたい投稿内容

次のような内容の投稿のうち、当センターで適当と判定したものを掲載します。その際に原稿の修正をお願いすることもあります。

 - a) 学術あるいは技術に関する論説または意見
 - b) センターの業務、運営方針に対する要望または意見
 - c) その他利用者一般の方々に関心をもたれる事項に関する論説または意見
 - d) 計算機を利用して行った研究論文の概要
 - e) プログラムの実例と解説
2. 執筆にあたってご注意いただく事項
 - a) 原稿は横書きです。
 - b) 術語以外は、「常用漢字」を用い、かゝは「現代かなづかみ」を用いるものとします。
 - c) 学術あるいは技術に関する原稿の場合は 200 字程度のアブストラクトをつけてください。
3. 原稿の提出方法
 - a) サイズは以下を参照ください。
 - ・原稿(B5)の印字部分は縦 21cm、横 14cm
 - ・文字の標準は明朝体 10～10.5 ポイント
 - ・標準の文字数 (37 文字 43 行)
 その他詳細は、以下を参照ください。
<http://www.cc.tohoku.ac.jp/refer/sipitu.html>
 - b) ファイルは Word 等で CD あるいはメールに添付して提出ください。
4. その他
 - a) 投稿原稿は原則として返却しません。
 - b) 執筆者には、希望があれば執筆号の PDF ファイルと別刷 50 部を進呈します。50 部を超える分については、著者の実費負担とします。別刷の希望部数等は投稿の際に申し出てください。
 - c) 初回の校正は、執筆者が行って、誤植の防止をはかるものとします。
 - d) 原稿の送付先は次のとおりです。

郵送：〒980-8578
 仙台市青葉区荒巻字青葉 6・3
 東北大学情報部情報基盤課庶務係
 Tel 022-795-3406,3407
 Fax 022-795-6099
 e-mail uketuke@isc.tohoku.ac.jp

編集後記

いよいよ新スーパーコンピュータ SX-9 の登場が目前に迫ってきました。毎度のことながら、新しい大型計算機の導入を同じ建物内で間近に見ることができると思うと、ワクワクしてきます。実際に搬入・設置・設定・運用等にあたるスパコン担当の教職員・ベンダーの方々にとっては、極限状態に近い中での作業が続き、ワクワクだけでは済まされないのでしょうかど…。

さて、今号では、本センターと共同研究を実施されている研究者の方々に、研究成果を執筆していただきました。快くご執筆いただいた著者の方々に、厚く御礼申し上げます。また、センター内から、平成 19 年度全国共同利用情報基盤センター顕彰、第 7 回テラフロップワークショップおよび第 29 回全国共同利用情報基盤センター研究開発連合発表講演会に関する記事をお届けします。(TM)

今号掲載の情報基盤センター顕彰を受賞された栗田先生には、11 年にわたり MARC 講習会の講師を快くお引き受けいただき、受講者に好評の講習会を、毎年途絶えることなく開催することができました。センターの講習会や利用相談は、栗田先生をはじめたくさんの方々の利用者の方々にも支えられてきました。このような利用者の方々との繋がりに感謝し、これからも大切にしていきたいと考えています。また、少しでも利用者役に役立つ SENAC の記事掲載にむけてアンケートを挟みました。ご忌憚のない意見をお待ちしております。(KS)

SENAC 編集部会

小林広明	曾根秀昭	水木敬明
後藤英昭	加藤雅行	加藤 昇
伊藤英一	斉藤くみ子	

平成 20 年 1 月発行
 編集・発行 東北大学情報シナジー機構
 情報シナジーセンター
 仙台市青葉区荒巻字青葉 6・3
 郵便番号 980-8578
 印刷 大成印刷株式会社